

ROU  KENサザンカ *Sasanqua*

サザンカは日本原産の植物で、ツバキ科ツバキ属に属する常緑樹の植物です。5～15mほどの高さに成長し、10～12月に白・ピンク・赤の花を咲かせます。四国から九州、沖縄にかけて分布し、庭や公園でよく目にする花です。漢字では「山茶花」と書きます。

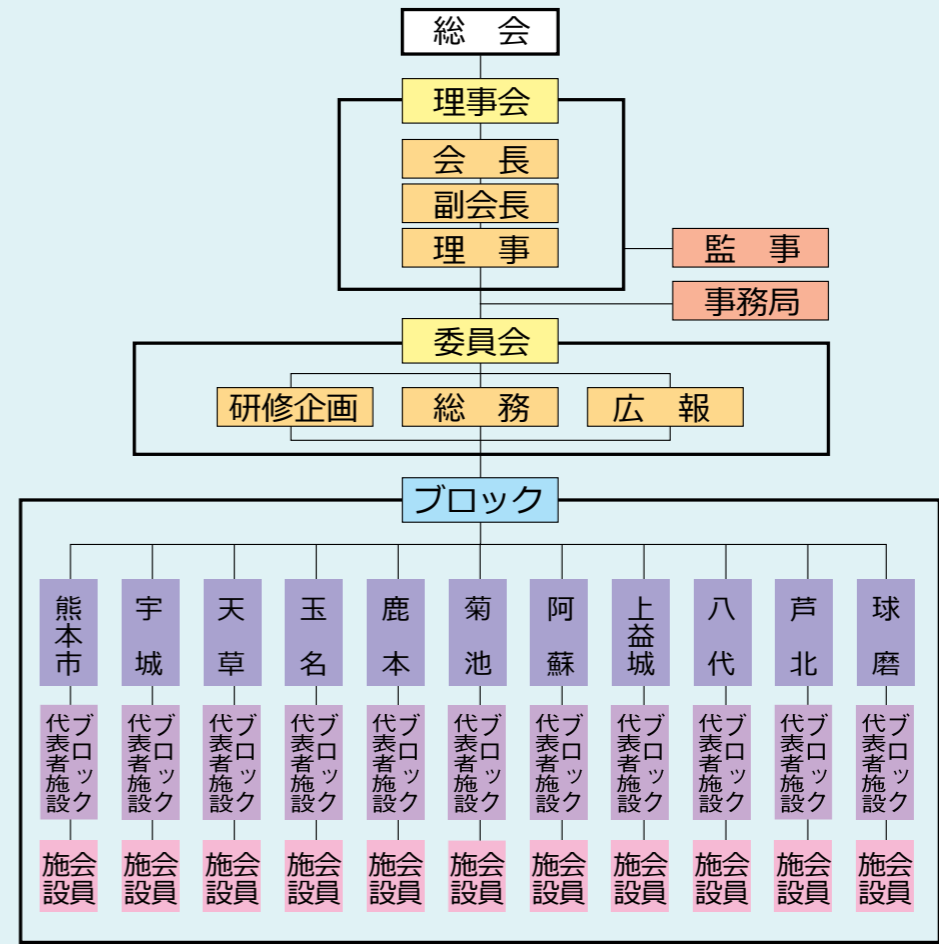
江戸時代に長崎の出島でオランダからヨーロッパに広まったといわれており、和名がそのまま学名 (*Camellia sasanqua*) になりました。英語でも「Sasanqua」と呼ばれます。

サザンカの花言葉には「困難に打ち勝つ」「ひたむきさ」などがあります。これは他の草花が枯れてしまうような寒さが強くなる時期に凛とした花を咲かせることからついた花言葉とされています。花の色別に、赤いサザンカには「謙譲」、白のサザンカには「愛嬌」、ピンクのサザンカには「永遠の愛」などの花言葉もあります。



一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

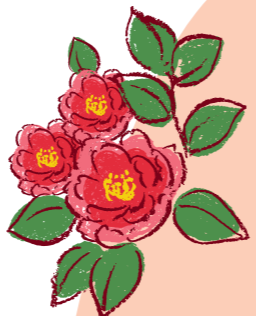
一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図



総会 通常総会年1回6月に開催、臨時総会は必要に応じて開催。
 理事会 通常理事会(年2回の開催、6月、3月)
 臨時理事会(必要に応じて開催する。)
 委員会 ●総務委員会 理事会の指示のもとに会務全般の庶務を行う。具体的には事業計画の立案、実施状況の把握、老健運営上の課題の整理、県担当部局との調整など。
 ●研修企画委員会 年間を通しての研修の企画、講師の選定、研修の運営、研修の評価等。
 ●広報委員会 広報誌の発行、ホームページの作成、会員への情報伝達方法の検討。
 各ブロック 地域振興局単位で意見の集約を図り、老人保健施設の立場から地域の活動に協力していくために、熊本市及び地域振興局単位でブロックを編成する。施設間、職種間での意見の交換を行い、課題の整理と活動を行うこととする。

目次

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図・目次2
 在宅復帰と家族復帰 会長 金澤 知徳3
 退任のご挨拶 山田 和彦4
 副会長・理事挨拶5~6
 新役員名簿7
 研修会報告 令和5年度 職員基礎研修会8~9
 熊本県老人保健施設協会会員施設10~11
 お知らせ・編集後記12



在宅復帰と家族復帰

熊本県老人保健施設協会 会長 金澤 知徳



皆さんこんにちは。あらためまして、今年6月の総会で山田和彦前会長から会長職務を承継いたしました金澤知徳です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。振り返りますと平成2年1月に県老人保健施設研究会が開催され、平成3年6月に県老人保健施設協議会が誕生しました。平成5年からサービスマニエール事業を開始し、互いの施設を見学し合い切磋琢磨しながら県内の老人保健施設は成長してきました。

当時は特養や介護の他には有料老人ホーム、高専賃などの居住系施設は存在せず、退所退院後はご家族と暮らす在宅生活をイメージした退所退院計画が老人保健施設や医療機関における業務の中心でした。特に老人保健施設ではご家族の負担感と不安感を軽減するためにショートステイやデイケアプログラム等を駆使した家族との共同作業が主でしたが、平成12年に介護保険制度の導入以降に国土交通省施策で高専賃・サ高住ほか高齢者居住空間が大きく変化し、まさに自宅代行、家族代行の地域作りへと変化してまいりました。もちろん、超高齢

化、家族構成の変化、国民気質の変化など、時代の移り変わりと共に止むを得ないことでしょうが、次第に互いが求めるものの多様化と共に包容力と忍耐力とが低下してきている様に感じています。ですが如何でしょうか。左右に揺れる様々な制度・政策の変化のもとではなおさらのことだと思えます。

さて、その様な中であればこそ、いま、老人保健施設の役割の一つとして、私たちが丁寧に担わなくてはならない尊いものは何でしょうか。先にも述べましたように私たちはご本人ご家族、そして地域の方々と共に歩いてきました。時にご家族の介護疲れに耳を傾け、様々な提案を伝えてきました。日常のケアも、不器用なりに伝えてきました。夫々が懸命に努めている私たち。亡くなった時の感謝の言葉で救われ、ご家族のその後をもう気遣っている私たち。しかし、ご家族と共に生活しているわけではなく、知らないこと気付かないことが沢山あります。時代と共に生活様式が変わったとはいえ、一緒に暮らすことが出来ない或いは一緒に暮らしていない現実に、ご自

分を責めてしまっておられるご家族も決して少なくはないと思います。私たち老人保健施設は在宅生活を目指してご家族を支援しますが、様々な背景で入所利用が長期化してしまう場合もありません。そして足が遠退いてしまわれるご家族もあります。現実的に面会が減っても一生懸命にご両親のことを大切にされているご家族も多いものです。コロナ禍を理由にせず、私たちは平素からどこまでご家族とのラポールが得られていたのでしょうか。場合によっては住み慣れた自宅に戻り在宅復帰を達成することのみに目を向けるよりも、次第に離れかけていたご家族の絆をとり戻す「家族復帰」を叶えることこそが老人保健施設としての尊い役割の一つではないでしょうか。

地域包括ケアシステムを考えると、多くの介護サービスマニエールを単に整えるだけでなく、ご家族の思いやご家族を支援できる自分たちでありたいと思っています。

新任役員ご挨拶

この度、副会長に選任頂きました 老健「おおつかの郷」施設長の田中素美と申します。

初代の堀尾先生を初め山田元会長、金澤会長と錚々たる先生方に薫陶を賜り早や30年。何とかここまで付いてくることができましたのは諸先生方のご指導のお蔭と改めて感謝申し上げます。

急激な時代の流れ、社会情勢の変化に対応できる老健施設の在り方を、オープンマインドで会員の皆様方と共に模索して参りたいと存じます。個々の老健がそれぞれに努力するより、横の連携を強化し協力し合える体制作りを目指せればと思います。

何卒皆様の忌憚ないご意見、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

副会長 田中 素美



副会長就任にあたって

この度、熊本県老人保健施設協会副会長に就任したメディエイト鶴翔苑の鶴田克家です。これまで熊本県老人保健施設協会の理事という形で協会に関わって参りましたが、年に1、2回会議に出席するだけで、正直仕事らしい仕事は行っていませんでした。今回副会長に就任するにあたって、改めて老人保健施設協会の役割について考えてみました。

- 現在、介護老人保健施設(以下老健施設)の利用者のニーズは以下の様に様々です。
1. 医療機関等から入所し、リハビリテーションを行いながら在宅への復帰を目指す場合
 2. 在宅維持のための、ショートステイおよびレスパイトを含めた老健施設の繰り返し利用
 3. 機能が低下した場合の長期入所
 4. 特別養護老人ホーム等の長期入所施設待機
 5. これまで老健施設を繰り返し利用されてきた方の看取り

このようなニーズを入所施設、通所リハビリという形でサービスを提供しています。元々中間施設としての役割を担っていましたが、現在は中間施設としての機能に加え、終の住処としての機能や医療を提供する機能も求められています。

熊本県は、熊本市の様な都市部で医療、介護の提供がある程度充足している地域と、高齢化、過疎化が進み、それらの提供が困難となってきている地域に別れています。同じ老健施設とはいえ、全ての施設が同様の方針で運営できるわけではありません。地域によって老健施設の求められる役割が異なります。熊本県老人保健施設協会は、地域特性を踏まえた老健施設のあり方を様々な形で提供していきたいと考えています。

また、老健施設の運用に当たっては、人材確保という多くの問題があります。どの施設も人手不足に悩まされていると思います。労働人口の減少に加え、近年では賃金の引き上げがどの業種でも行われ、更に人材確保が困難となっています。介護報酬が上がりなければ人も雇うことができなくなってしまうでしょう。国は外国人労働者を受け入れることを進めています。円安がこれ以上進めば、日本に人が来なくなることが考えられます。人材確保という観点では、先の見通しが立たない状況の中、ロボット導入、IT化など人に代わるものを導入していくことも重要となってきます。

個々の老健施設ではまだまだ様々な問題点が多く存在する事でしょう。これからの超高齢化社会にとって、老健施設は地域包括ケアの中心となっていくべき存在です。我々が健全に安心して施設運営を継続して行えるように金澤新会長を田中新副会長と共に支えていきたいと考えております。今後共にご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

副会長 鶴田 克家



退任のご挨拶

熊本県老人保健施設協会 元会長

山田 和彦



皆さまご健勝のことと拝察いたします。この度の総会を持ちまして16年間務めさせていただきました。振り返ってみますと、その間に、東日本大震災、熊本地震、令和2年7月の熊本県南部豪雨災害と、多くの災害に直面し、遠く岩手県まで行っていたいただいた県老健の災害支援をはじめ、災害支援で見ていただいた見事な熊本県老健協会の皆様のチームワークがまず思い出されます。この災害支援をはじめ、協会活動で見ていただいた多くの会員施設の皆様への支援のおかげで新型コロナウイルス感染症のため一時期停滞せざるを得なかった時期があったものの、この16年間活発な活動ができましたことに心から感謝申し上げます。熊本県老健協会は発足当初から充実した教育研修活動を行ってまいりました。その時々の課題に応じ、全国各地から遠路ご講演に来ていただいた先生方から直接お話を聞くことも

多く私自身も励みになりました。この間に開催しました九州ブロック大会も「くまモン」の登場も相まって全国大会に近い盛況だったことも熊本県老健協会会員総出での準備から始まり最後の反省会迄皆さんのご協力があったことと改めて懐かしく思い出しています。さて、老人保健施設を取り巻く環境は年々厳しくなってきたのはご承知のとおりであります。2012年の介護報酬・診療報酬同時改定で強化型老人保健施設の施設療養費が創設され、所定疾患施設療養費が登場し、在宅復帰や施設内医療の評価の面で前進は見られたものの、その後の我が国の経済状況、人材難、医療を取り巻く環境の大きな変化の波に制度や報酬が追い付いていない状況に大変危惧の念をいただいております。そのようなかでも地域において老人保健施設の必要性、特に在宅ケアの後方支援施設としての老人保健施設の重要性はゆるぎないものであ

ると思います。来年4月の同時改定も最近の物価・人件費の上昇を考えますと財源的にも大変厳しいものがあると考えます。振り返ってみますと老人保健施設40年近い変遷の中で幾多の困難な時がありました。その時々で我々のよりどころとなったのは、老人保健施設が掲げてきた理念そして地域の期待に応えた役割に忠実な運営でした。昨今の厳しい経営環境にあっても、私たち熊本県の老健では、利用者本位のサービス提供に心がけ、老健の理念を忘れず、一体となって老健運営の王道を歩み地域の期待に応えていくという伝統を守り発展進化していきたいものです。会員の皆様、そして会員施設の職員の皆様のこれからのますますのご発展を祈念いたします。



最後になりましたが、今まで協会運営にご協力いただいた多くの皆様そして毎日の協会運営事務に携わってくれた事務局職員、歴代の事務局長に感謝いたします。

役員名簿

(任期：令和5年6月定期総会翌日～令和7年6月定期総会終結時まで)

協会役職	氏名	所属内役職	所属
会長	金澤 知徳	理事長	介護老人保健施設 青翔苑
副会長	田中 素美	施設長	介護老人保健施設 おおつかの郷
	鶴田 克家	理事長	介護老人保健施設 メディエイト鶴翔苑
理事	山田 和彦	代表	介護老人保健施設 リバーサイド御薬園
	荒瀬 一巳	理事長	介護老人保健施設 ナーシングケア緑風苑
	金森 正周	理事長	介護老人保健施設 あさひコート
	保利 真理	施設長	介護老人保健施設 希望の園
	藤岡 靖也	理事長	介護老人保健施設 御船清流園
	水足 秀一郎	理事長	介護老人保健施設 太陽
	富島 三貴	理事長	介護老人保健施設 ぼたん園
	松下 和徳	施設長	介護老人保健施設 白藤苑
	小田 哲也	理事長	介護老人保健施設 景雅苑
	眞鍋 哲郎	理事長	介護老人保健施設 白梅の里
	野田 賢之介	理事長	介護老人保健施設 ケーナ・ガーデン
	松本 篤子	施設長	介護老人保健施設 かがみ苑
	津野田 尚子	理事長	介護老人保健施設 みつぐ苑
監事	上野 博久	理事長	介護老人保健施設 ぎんなんの里
	平井 恵介	所長	平井公認会計士事務所

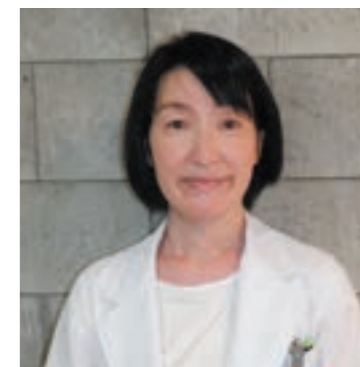
公益社団法人全国介護老人保健施設協会役員名簿

熊本県 支部長	山田 和彦	リバーサイド御薬園
---------	-------	-----------

理事就任あいさつ

理事 松本 篤子

この度理事を拝命しましたかがみ苑の松本と申します。
八代市鏡町というのどかな地域に勤務しております。
地方の老健施設では年々深刻化する人手不足の中で多様な医療・介護ニーズへの対応、改定毎に複雑・煩雑化する制度・書類への対応など課題が山積しております。
この厳しい環境に潰されず、ご利用者に喜んでいただきつつ、職場のみならずいかに明るく楽しい毎日をご過ごせるか皆様と一緒に考えていければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



熊本県老健協理事就任にあたって

理事 野田 賢之介



天草市河浦町で、介護老人保健施設ケーナ・ガーデンの施設長をしております野田賢之介と申します。
この度は、皆様からご推薦を頂き熊本県老人保健施設協会の理事を拝命いたしました。
介護老人保健施設を取り巻く状況として、3年以上に渡り、かつこれからも続くと考えられる新型コロナウイルス感染症の流行、ガソリンをはじめとする諸物価の高騰、改善が見られない施設職員全般の求人難等、問題が山積しています。しかし、私は社会がこれからどのように変化していこうとも、高齢者とそのご家族が住み慣れた地域社会で安心・安全に過ごしていただけるように努めていきたいと考えております。そのための着想を熊本県老人保健施設協会の理事の任務を通して色々学ばせて頂ければ幸いです。
今後、微力ながら最善を尽くして参る所存ですので、皆様方におかれましてはご指導、ご鞭撻のほど、何卒、よろしくお願い申し上げます。

理事就任あいさつ

理事 津野田 尚子

この度、理事に就任させて頂きました介護老人保健施設みつぐ苑の津野田尚子と申します。平成7年に東京女子医大を卒業後、熊大放射線科入局、荒尾市民病院、熊本医療センター等救急病院勤務を経て、平成15年32歳に実父の老健継承のため施設赴任、20年経ちました。
当初、若輩者の私には病院の大多数の1人として働く安心感が恋しく、福祉に馴染めず悩んだ時期もありましたが、認知症分野で18年前に専門クリニックを開業し、熊大神経精神科大学院まで修了させて頂き幸運にも研究の機会まで頂きました。誰もが尊厳と当たり前の日常を維持しながら地域で過ごす事、そのための医療と福祉の支援をチームで提供する事の尊さに気づかせて貰えたのは老健のおかげです。5年ぶり施設長に再任し、まだ自身もリハビリの身ですが、老健の存在意義を示される先輩方のお手伝いできれば幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。





「令和5年度 職員基礎研修会」開催

令和5年7月7日(金) ホテル熊本テルサ

令和5年度職員基礎研修会が7月7日に4年ぶりの対面形式で開催されました。老人保健施設で働くにあたって意識するべき点について、5つのテーマで講義いただきました。

まず、開会に際して、金澤新会長より、前会長からの意向もあり次の時代に繋ぐための暫定的な会長としてみなさんと一緒に新しい時代をつくっていくための準備をやっていきたいと思ってお引き受けしました。そのような意味で、今日は私にとっても思いを込めた基礎研修になれば、みなさんと一緒に『ああ、そうか!』と気付くようなことがたくさんあればと思っておりますのでよろしくお願いたします、と挨拶されました。

最初の講義は、「介護老人保健施設の理念と役割」ということで、金澤会長よりご講義いただきました。介護報酬の改定についての話から始まり、老人保健施設の誕生までのお話がありました。包括的ケアサービス施設、リハビリテーション施設、在宅復帰施設、在宅生活支援施設、地域に根ざした施設、という老人保健施設の理念と役割についても紹介いただきました。老人保健施設と他の施設の違いについては青翔苑のキャッチコピーを紹介され、利用者を持っているニーズを叶えてあげることができるとのみなさんで探していく・可能性を追求していくのが老健施設じゃないか、とまとめられました。

2時間目の講義は、「摂食・嚥下障害について」。白藤苑、田尻栄養管理部長よりお話いただきました。日々の振り返りの時間と捉えて聞いていただければ、と始められ、摂食・嚥下障害のチェックポイントや栄養ケアに関する各職種の役割等を紹介されました。食事を安全に食べていただくことも大事だと認識して、日々の食事の観察・記録等に繋がって欲しいと話されました。

3時間目の講義では、「身体拘束・虐待防止について」というテーマで、メディアイト鶴翔苑PT萩原様にご講義いただきました。

ました。身体拘束の対象となる具体的な行為ごとに工夫のポイントを紹介され、利用者の行動の理由や原因を利用者に寄り添って考えることが大切と話されました。高齢者虐待や不適切なケアについては、利用者・職員・組織の3つの方面から対策を行っていく、自分たちの中で気を付けていくべきことを心の片隅において明日からの行動を変えていって欲しいとまとめられました。

4時間目の講義では、フォレスト熊本、高木科長より、「認知症高齢者の理解とケア」についてお話いただきました。その人らしさをケアの中心に置く「パーソン・センタード・ケア」を考えるためには、思いを聞くこと、情報を集めて伝えること、そしてそこから満たされていない心理的なニーズを見つけることが重要だと話されました。認知症になるといことは、その人全てがなくなるわけではありません、認知症を持つ人の視点を理解しようと努力し、最初から100点満点を指すのではなくまずは60点の介護を目指しましょうとまとめられました。

5時間目の講義では、清雅苑の富利リハ部主任より、「生活リハビリテーションの視点」ということで、その人らしさをチームで支援していく生活リハビリテーションについてお話いただきました。居室のレイアウトやベッドの高さと位置、マットレスやトイレの種類等といった環境整備について様々な例を挙げて紹介され、利用者本人や家族の意向をケアプランに反映させること、生活リハビリテーションの視点を持ち多職種で協働していくことが大切と話されました。

15時40分からは「コロナ禍で学んだこと」をテーマにグループワークを行いました。県内各地の施設から集まった年齢も職種も様々なメンバーと6〜7人のグループを作って話し合い、大変だったこと、改善点や対策、課題などを紙にまとめました。発表内容は以下の通りです。

各グループの発表内容

1グループ

- ・汚染物や物品の取り扱い等の知識が不十分だった。
- ・汚染物の取り扱い・着脱方法の教育、マニュアルの作成を行っていく必要がある。

2グループ

- ・難聴の方のご家族との面会について機器を活用するなど対応を行っていく。
- ・感染物や汚染物の処理法を学び、徹底していく。

3グループ

- ・利用者さんが使う箇所の消毒の徹底を行っていく。
- ・普段から意識を持って生活することが重要だと感じた。

4グループ

- ・利用者様からはげましの言葉をいただくこともあり、悪いことばかりではなくいい体験にもなった。
- ・それぞれ職場は違うが、これからも体調管理を徹底し協力して頑張っていきたい。

5グループ

- ・認知症の方の対応、部屋から出られないことによる筋力・ADL低下が大変だった。
- ・多職種で連携していくこと、体調が悪い時に無理に出動しないようにすることが重要。

6グループ

- ・認知症の方の対応の難しさ、食器の変更による食欲減退等の変容を感じた。
- ・マニュアルを作成し、何回か勉強会を開いていく必要がある。

7グループ

- ・日常での感染予防や人と人の関わり、当たり前に過こせる大切さを感じた。
- ・感染対策の継続を行い、当たり前前の生活を維持していくことが大事。

8グループ

- ・ご家族様との繋がりによる、利用者様の心理的な影響の大きさを実感した。
- ・専用の物品の確保について確認しておく必要がある。

9グループ

- ・職員の不足によって職種関係なく対応したこと、多職種の連携が重要だと感じた。
- ・感染対策やガウンテクニック等の勉強会を行い、マニュアルを見直していく必要がある。

10グループ

- ・職員の感染による人員不足の中での業務に苦労した。
- ・環境整備や感染対策をしながら、サービスの提供を維持していく。

11グループ

- ・職員間での接触を減らしたことで、人と人との繋がりの大切さやコミュニケーション、情報共有の重要性を実感した。
- ・感染予防の徹底、エプロン・マスク等の処理について



12グループ

- ・使用した物品を写真で残して可視化することで分かりやすくする。
- ・感染対策マニュアルをデータで残し、見やすいところに掲示するなどして次に備えていくことが重要だと考える。

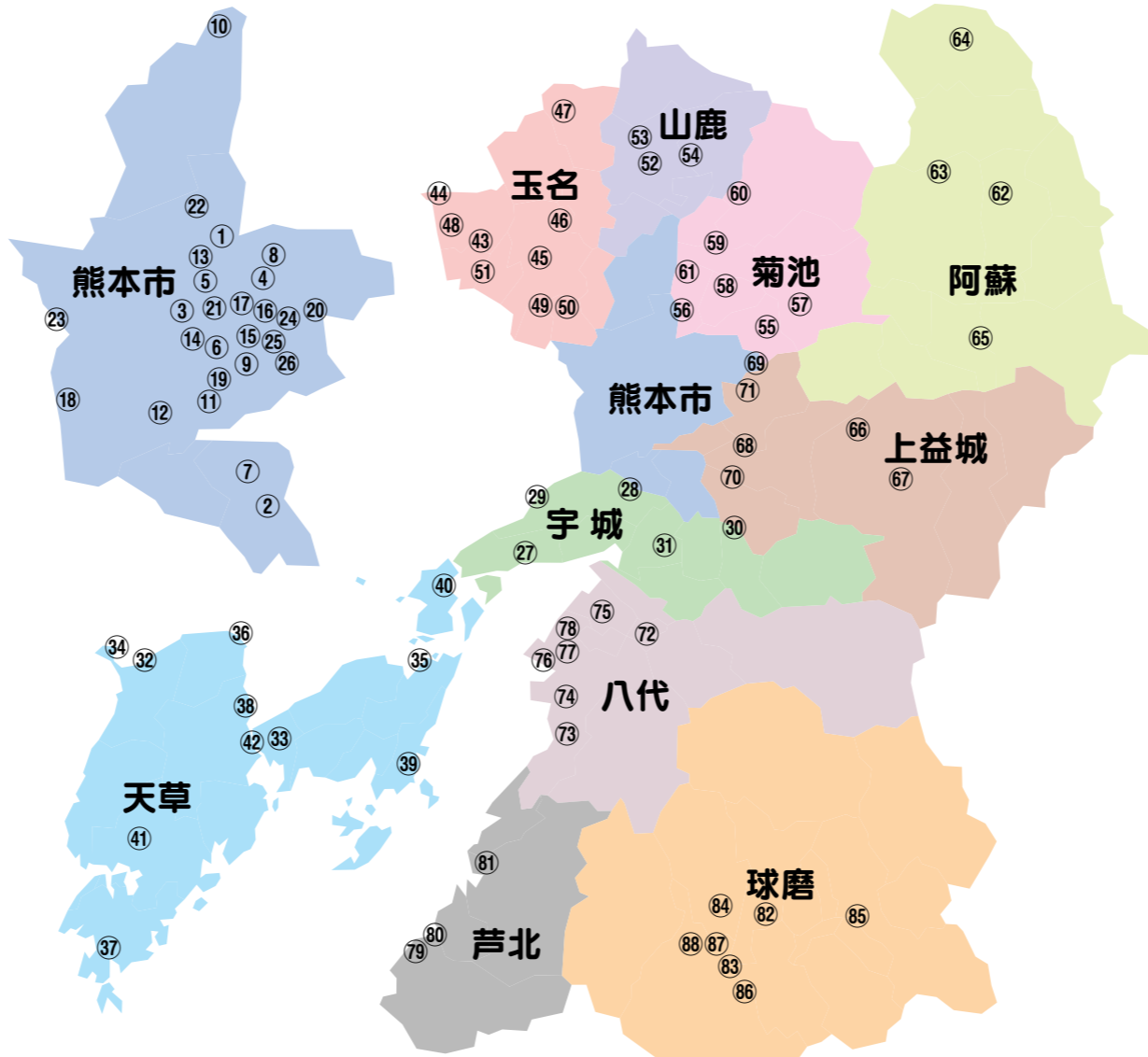
13グループ

- ・職員不足による精神的ストレスが大きく、職員の精神的ストレスの発散が課題。
- ・物品の準備・管理や、部屋の環境整備、マニュアルの見直し等、平時から行っていくことが重要だと感じた。

新型コロナウイルス感染症の蔓延によりオンライン形式の研修会が続いていた中、久しぶりの対面での開催ということもあり、施設間での繋がりの重要さも感じた研修会となりました。この研修会で学んだ内容を日々のケアに活かしていきたいと思えます。



熊本県老人保健施設協会会員施設



- ①清雅苑 熊本市北区山室6丁目8-1 096-345-8112
- ②桔梗苑 熊本市南区城南町沈目1481 0964-28-6811
- ③青翔苑 熊本市西区島崎2丁目21-10 096-359-5377
- ④阿房宮 熊本市北区龍田陳内1-3-20 096-337-1111
- ⑤杏の里 熊本市西区池田1丁目14-78 096-351-2788
- ⑥南楓苑 熊本市中央区南熊本2丁目11-1 096-371-5111
- ⑦光乃里 熊本市南区城南町今吉野972 0964-28-8000
- ⑧ぎんなんの里 熊本市北区楡木1丁目3-70 096-337-2700
- ⑨湧心苑 熊本市中央区出水4丁目15-30 096-371-4165
- ⑩ケアビレッジ箱根崎 熊本市北区植木町正清888 096-274-7700
- ⑪ばたん園 熊本市南区御幸笛田6丁目8-1 096-370-1222
- ⑫白藤苑 熊本市南区白藤5-1-1 096-358-7200
- ⑬みつぐ苑 熊本市北区貢町135 096-323-6123
- ⑭のぞみ 熊本市中央区本荘3丁目7-18 096-371-3399
- ⑮シルバーピア水前寺 熊本市中央区水前寺5丁目8-15 096-384-3399
- ⑯メディエイト鶴翔苑 熊本市東区保田窪本町10-112 096-387-8181
- ⑰フォレスト熊本 熊本市中央区渡鹿5丁目1-37 096-363-0101
- ⑱なすび園 熊本市西区沖新町3353 096-329-5666
- ⑲田迎ケアセンター 熊本市南区出仲間5丁目2-2 096-378-2223
- ⑳ケアセンター赤とんぼ 熊本市東区戸島西2丁目3番10号 096-331-3737
- ㉑なでしこ 熊本市中央区北千反畑町2-5 096-343-7450
- ㉒かなこぎ苑 熊本市北区硯川町768-1 096-275-2788
- ㉓葵の森 熊本市西区松尾町近津1480番地 096-311-4004
- ㉔レ・ハビリス桜十字熊本東 熊本市東区三郎1丁目12-30 096-385-6262
- ㉕コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目3-12 096-384-8088
- ㉖第二コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目8-8 096-360-3111

- ㉗青海苑 宇城市三角町郡浦739-8 0964-54-1311
- ㉘あさひコート 宇土市旭町106番地 0964-23-5211
- ㉙景雅苑 宇土市上綱田町3676 0964-27-1708
- ㉚なごみの里 下益城郡美里町堅志田192-1 0964-47-6011
- ㉛松幸 宇城市松橋町西下郷544 0964-32-5516

- ㉜慈恵苑 天草郡苓北町上津深江278-10 0969-37-1567
- ㉝本渡ケア・ホーム 天草市下浦町2090-1 0969-24-3331
- ㉞臥龍園 天草郡苓北町富岡3273番地2 0969-35-1530
- ㉟松朗園 上天草市松島町今泉32-1 0969-56-3111
- ㊱ブルーマリン天草 天草市五和町御領9133 0969-32-2112
- ㊲ケアセンター鶴丸 天草市久玉町62-1 0969-72-6072
- ㊳天草中央総合病院附属 天草市東町101 0969-22-2111
- ㊴きららの里 上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19 0969-62-1123
- ㊵ほんごう苑 上天草市大矢野町登立8607 0964-56-5110
- ㊶ケーナ・ガーデン 天草市河浦町河浦4778-3 0969-76-1808
- ㊷夢織りの里天草 天草市楠浦町字掛場59番5 0969-22-8288

- ㊸聖ルカ苑 玉名郡長洲町宮野2772-10 0968-78-5521
- ㊹慈眼苑 荒尾市増永708-2 0968-64-1018
- ㊺樹心台 玉名市伊倉北方272 0968-73-4165
- ㊻ゆうきの里 玉名市上小田1063 0968-74-0666

- ㊼清風苑 玉名郡和水町上板楠1697-1 0968-34-3700
- ㊽平成ドリーム館 荒尾市水野1556 0968-68-7770
- ㊾星雲荘 玉名市横島町横島3384 0968-84-3717
- ㊿てんすい倶楽部 玉名市天水町部田見1214-15 0968-71-5600
- ①幸 玉名市岱明町鍋1831 0968-57-5105

- ②希望の園 山鹿市山鹿369 0968-44-2100
- ③山鹿リハビリセンター 山鹿市熊入町313 0968-43-4370
- ④太陽 山鹿市鹿本町津袋654-1 0968-46-6111

- ⑤サンライズヒル 菊池郡菊陽町曲手760 096-232-5656
- ⑥桜の里 合志市須屋702 096-343-8377
- ⑦おおつかの郷 菊池郡大津町陣内1165 096-294-1500
- ⑧ひらせ記念リハビリ苑 合志市福原3111 096-248-7100
- ⑨孔子の里 菊池市泗水町福本904-1 0968-38-5666
- ⑩リハビリセンターきくちの里 菊池市大琳寺123 0968-23-7721
- ⑪有隣 合志市野々島字東原4414-17 096-242-5050

- ⑫阿蘇グリーンヒル 阿蘇市一の宮町宮地121 0967-22-0500
- ⑬愛・ライフ内牧 阿蘇市内牧1105-1 0967-32-5511
- ⑭おぐに老人保健施設 阿蘇郡小国町大字宮原1742-1 0967-46-6111
- ⑮リハセンターひばり 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2044-2 0967-64-8000

- ⑯彩雲苑 上益城郡山都町北中島2701 0967-75-0222
- ⑰ライフライト矢部 上益城郡山都町下市60 0967-72-1110
- ⑱御船清流園 上益城郡御船町御船1062-1 096-282-1616
- ⑲平成唯仁館 上益城郡益城町宮園字三の迫1139-1 096-286-0666
- ⑳ナーシングケア緑風苑 上益城郡甲佐町白旗271 096-234-3788
- ㉑ケアポート益城 上益城郡益城町安永1030 096-289-0777

- ㉒八祥苑 八代市氷川町早尾132 0965-62-4818
- ㉓ハピネスケア日南 八代市日奈久塩北町2922 0965-38-0700
- ㉔向春苑 八代市大福寺町2411-1 0965-33-8660
- ㉕かがみ苑 八代市鏡町塩浜235 0965-30-4000
- ㉖とまと 八代市郡築1番町180-1 0965-37-3737
- ㉗皇寿園 八代市高島町4218 0965-33-5545
- ㉘リハリート桜十字八代 八代市古閑浜町西塩浜3401 0965-33-8880

- ㉙やすらぎ苑 水俣市浜4051 0966-63-8621
- ㉚白梅の里 水俣市浜4098-18 0966-63-3888
- ㉛新清苑 葦北郡芦北町大字芦北字塩屋田尻2727-1 0966-61-3055

- ㉜サンライフみのり 球磨郡相良村大字川辺1778 0966-35-0840
- ㉝リバーサイド御薬園 人吉市七地町495 0966-22-6811
- ㉞つつじのさと 球磨郡山江村大字山田字南永シ切1705 0966-24-9800
- ㉟シルバーエイト 球磨郡多良木町大字多良木4210 0966-42-5288
- ㊱タンポポ 人吉市下漆田町字後平1538 0966-25-1551
- ㊲愛生 人吉市南泉田町89 0966-28-3586
- ㊳もみの木 人吉市下林町232 0966-22-0200

●は令和5年度ブロック代表者施設です。



プログラムの内容・時間は、変更になる場合がありますので、随時大会ホームページにてご案内いたします。

事務局移転のお知らせ

〒860-8515

(仮)熊本市西区島崎2丁目21-10

介護老人保健施設 青翔苑 内

TEL 096-200-3670

FAX 096-200-6027

事務局携帯 090-6899-5202

e-mail kmrouken@uma.bbiq.jp

HP <https://kumamoto-roken.or.jp/>



～新型コロナウイルス感染拡大防止対策～ 最新情報にご留意ください

全老健ホームページにて随時更新中 <http://www.roken.or.jp/>

「お知らせ」→「厚生労働省からののお知らせ」→「介護保険最新情報」へ掲載

編集後記

この度、広報委員を拝命いたしました。太陽の管理栄養士の田中教子と申します。

来年度の介護報酬改定の新しい情報を盛り込み、地域共生社会につながる「ろうけん熊本」の発信となるよう務めさせていただきます。

広報 田中教子

令和5年10月1日付で広報委員としてお手伝いをさせていただくことになりました南楓苑の西と申します。介護分野の経験も浅く、何かとご迷惑をおかけするかとありますが、微力ながら熊本県介護老人保健施設のために汗と知恵を出そうと思っています。何卒宜しくお願いいたします。

広報 西 淳亀

広報委員
後藤 健(青海苑)
古澤 浩幸(湧心苑)
岩尾 英憲(山鹿リハビリセンター)

西 淳亀(南楓苑)
田中 教子(太陽)

印刷：シモダ印刷株式会社

【広報委員募集中！】